



【刊夕日七十二月八】
 定 價 一 部 金 貳 錢 五 分
 告 白 料 五 錢 三 分
 休 刊 日 日 曜 日 祭 祝 日
 依 行 郵 政 特 准 掛 號 認 爲 新 聞 紙
 發 行 所 島 根 縣 平 島 市 大 崎 町 三 五 番 地
 電 話 三 六 三 〇 番

寄書
 人口國難
 逸見生

諸君！吾が日本帝國の現状は澎湃たる國難の時代であるさうで、曰く思想國難、經濟國難、政治國難があるといふのであります。然しながら私は此等國難の二字にはびくともしない者であります。何となれば此等は容易に清掃し回復の善導し得ると思ふからであります。其の理如何となれば思想問題では彼のマルクス主義の潜行的瀰漫運動であり、一體マルキシズムといふのは超人間的の空想である理想であつて、何等確立性のある經驗を有しないもの下階級意識の一時の昂奮によつて生じ破壊性はあつても建設性に乏しい學說であります。ダーウソンの生存競争に依つて發育してゆく吾々人間にはマルクス主義なる理想は机上の空論に過ぎないのであります。依つて諸君はマルクス主義な

んぞ恐るゝに足らんやであります。かくて一つ思想國難は清掃出来るのであります。次に經濟國難、政治國難は此また孰れも國難と言ふ程のものではないのであります。吾々大和國民は此位の問題では尻古垂るものではないとせん、これは爲政者たる者が公平無私にして犧牲的奉仕の態度を取り強き明るき政治を爲すことによつて聞くにも言ふにも穢らばしい國難沙汰は完全に排除出来ると思ひます。此の様にして國民が共同一致し自覺し緊張した時には國難の二字をして昨の言葉と爲し得るのであります。さて諸君私共は此處に三大國難は見事に退治出来たのであります。私に別に新に國難をもう一つ叫んで諸君の御憂慮を煩はさねばならぬことを氣の毒に思ふのであります。それは即ち人口國難であります。年々歳々七十萬乃至八十萬の人口増加に依り吾々のさな粟粒島國は將に人口の洪水に襲はれようとしてゐる憾があります。人口が

加することは決して憂ふべき現象ではないのであります。若し幸にこれに伴う必要な食料が充分供給されるならば問題も緩和されるでせうが食料といつてもその生産機關が大部分自然的制限を受けてゐるのである程度以上の食料生産は不可能であるとするとは實に日本ばかりの問題でなく全世界の瀾頭焦眉の問題であらねばなりません。只今世界總人口を十七億と見まして全世界の陸地に收容出来る最大程度の人口を五十二億と想像します

常磐 又 藝
 ◇いたつの身
 うつみね
 ○眠らむとするたまゆらも
 手術後の我神經のたかぶりてをり
 ○ひたすらに氣をおちつけ
 むものと思ひ手術の前のもの音に耐ゆ
 ○幾度かめさめて来たへが
 たしあかつき 眠れさすともせず

亡母の新盆に相當り候へ共時節柄提灯其他供物等一切御遠慮申上候
 平長橋町 木田喜一郎

誠晃院新盆に就いては時節柄提灯供物等御遠慮申上げます
 赤井村 丹吳忠雄

亡妻新盆の處時節柄提灯其他の御供物一切乍失禮御辭退申上候
 平町 市原卯太郎

第二回長期裁縫講習會
 期間 九月一日ヨリ翌年四月末日迄
 科目 裁縫を主とし希望により作法割烹手藝を教授致します
 會費 一ヶ月金壹圓
 會場 平陽女學校
 服裝 隨意であります
 年齢 制限ありません
 入會 何時でも入會が出来ます
 平陽女學校

移轉廣告
 外科 性病科
 光線科
 平町田町(赤心堂病院跡)
 安齊外科醫院
 電話四七五番

高久病院
 院長 醫學士 高久忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽清
 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
 内科 小兒科 外科 花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科
 平町田町 電話五二三番

本日より料金
 大破格値下斷行
 磐城タクシーへ
 電話四五四番
 平 驛 前

和食卓覆ひは、和久井屋
 平町志目
 電話四五番

電話六三〇番

探訪ナセン 泥酔漢巡査

明けても暮れてもナンセンスばやりの今、此頭一つ超特作物のナンセンスを御紹介に及ばふとするのである、題して「探訪ナンセンス」讀むと讀まぬは御勝手次第……と別に強がり申す譯ではないが、讀んで戴く事に依つて恥の上塗りになる事が辛いんだ、閑話休題、けふになつて見れば一昨日だから不精でない家のカレンダーは此に八月廿五日を示して居た筈、その夕方頃も刑事部長のA君がソリと筆者の家によつて来て、云ふには

根拠地

湯本に馬を進めて當つて碎けるより外はない、特種々々ヨシ来た御参んなれと心中忍かにホクン笑み且つ勇躍し、其上念入りに武者ぶるひ返し

自動車

の浅野君だ「何處へ行くッ」と聲を掛けられ思はず「停車場だ」……シマッタ！此の答ひ抜けがけの巧名に駈られて居る筆者としては正に千慮の一失！慧眼な浅野君に「湯本へだらう」と

筆者も

共に乗り込んだものである「湯本へスビートだッ」サアこれからが大變……

女按摩の 危い處を

四倉署長救ふ
茨城縣多賀郡高萩居住相馬

郡生れを按摩師タ本ミツ(ニ)は此夏中避暑客當て込み四倉町に至り一稼ぎを爲し本日半町に出ると大浦村小橋地内に差懸つた際午後十一時頃大浦川に轉落し身體を没する深さに危く溺死せんとした折柄巡視の爲めに自轉車を飛ばして来た四倉警察署長が是れを發見救助したと

平陽女學校の生徒が 師との別れを悲しむ

不穩な行動には出でぬ
學校當局へ留任を懇請

平陽女學校では平塚次郎、國井徳松の兩教諭を解職し新教諭を補充して昨日から暑中休暇明けの二學期を開始したが二年生の一部は國井教諭の罷免を悲しみ昨日酒井校長に對し留任を懇請する處あり目的達成の爲めに同盟休校をも決しかねまじき氣配を傳へられたが學校當局の慰撫に依つて

小遣錢を貯へ 貧困者に恵む

平町白銀町建具職山本きん方徒弟大和田勇(ニ)は毎月の小遣錢を貯へ金五圓を平町内の極貧者に與へて貰ひたいと本日平町役場に出願した

十八娘の胸を突く 路上で行逢ひ様に

石城郡湯本町大字水野谷字諏訪ケ崎馬山岩太郎(ニ)は去る五日夜七時頃同町淺見地内に行逢つた隣家の金一郎長女大平ウメ(ニ)に突然胸突を食はし逃げやうとしたのを

社告

坂本忠治
右入社す
緑川松太郎
右退社す
常警毎日新聞社
八月廿六日

平越趣味 家庭と長唄

御多聞に洩れぬ汗ダクの熱心派
清元がイキな職人の印件天なら長唄は奥様の九監委唄の文句に厭味がなく、すこぶる家庭向、先づ阿部政右衛門、門傳辯護士、川崎本社長等の

各夫妻

が首を二つチャンと揃へて伸ばした縮めたりこれが平町邦樂

免狀を 持つ手に

持つ手にラケットを持つて遂にスポーツマンとなつてしまつた

お師匠

をしての若夫人等も娘時代には血道をおけた惜しい腕を持つてゐる、華道の吉田鐵工所夫人、同じく高橋龜松夫人

三味線

を持ち佐藤銀行員のキイ子夫人もこの暑いさなかに汗だくの熱心振り山田民報子夫人も矢張り御多聞に洩れぬ熱心家、山田麻袋夫人も素人藝以上の腕前だ、織田自轉車店夫人も振り分け髪の幼な時代から鍊を上げた確かな腕であり、佐藤ラムネ店のトモチやんは女學校時代に

追ひ駆け

て腕をネジ上げ頬を殴打したと此程岩太郎を相手取り被害者からや署に告訴に及んだが事情を聞くに去月十一日夜ウメは岩太郎の妻イワに連れられ三國座へ活動見物に行つた際同町の周旋業高橋隆雄と同座しイワと隆雄は口を揃へて「東京へ奉公に行け」と勧めたがウメは耳

父に告げ

たので父も「俺れの娘に勝手な仕打をする」とて憤慨し隣り合せの家でありながら仲違ひとなつた事から原因して前記路上の暴行を演ずるに至つたものであると

出生

△長橋町一七 今宮政衛氏二女朝子
△五丁目一三三 森猪之介氏三女ミエ
△新川町二五 吉野健氏三女美津子



明日の天才 報象氣天 今晩も明日も北 東の風涼しく曇 りがちの小雨模 様です

△前六・二〇 夏期獨逸語 講座(第卅三)小田切良太 郎
△前九・一〇 料理献立 「グレンドチキン」朝倉朝 吉發表 日用品値段「調 味品並飲料品」
△前一〇・三〇 家庭講座 「琴の手ほどきと童曲」
△後〇・〇五 連續講談 「小櫻仙太郎」(第四席)田 邊南龍
△後四・〇〇ヨリ△後五・三 〇マデベルリン東京間 連絡飛行報知機着陸前後 狀況及吉原飛行士の挨拶 (佐々木練兵場より中繼)
△後六・〇〇 子供の時間 童話劇「星姫と王子」浪華

俠客小櫻仙太郎

田邊南龍

清左衛門は仙吉を娘やのぶの婿にして自分の跡目を繼がせやうとしたが、仙吉は始めて其身の來歴を述べてこれを斷つた、此仙吉實は江名淺草の俠客で春中に彫つたほりものが綽名になつて小櫻仙太郎、江戸淺草茅町で手習師匠をする板倉家の浪人菊地仙右衛門の子に生れたが、劍術柔術を好んで武州八王子の俠客峰右衛門の子分となつて男を賣出した處、親分峯右衛門が渡世上の遺恨で同じ仲間不動の三五郎、小金の七之助、雲龍岩五郎、惡魔の重五郎

等四人のため殺害されたので其無念を晴らすため四人の行衛を捜ねて仇討をする望みある身であることを打明け鶴沼を出立して信濃路に入り上げ松にかゝつた時道連れになつた男が途中で脇差をぬいて仙太郎を脅迫した仙太郎これを取つて押へて改心を促すと此男は上諏訪の旅籠屋信濃屋辯造の伴辯次郎と云ふ者で放蕩のため實家を勘當され窮餘の出来心と分り辯造を親計へ勘當の詫びに連れ行き滞在し中不圖したことから搜ぬる敵に出會ふ話は次席に

天災

金原亭馬生

熊さん、女房ばかりか母親とも氣が合はず、二人共追ひ出すから離縁状を二本書いてくれと家主の所へ頼みに来た、大家もあきれ幸ひ道學先生が知合ひなので夫れに意見をして呉れと云ふ添書をして熊を遣つた先生は手紙を見て諭し天道様を引合ひに出して懇々と説き聞かせ、何事も天災だと思つてあきらめなければいけないと云はれた、熊さん悉く感心して歸つて来た恰度その時隣の家で大喧嘩が始まつた、それは以前の女房があらばれ込んで来たので熊は早速仲裁に出かけまゝ待つた何事も天災だとあきらめる天災だくと云ふと隣の亭主「イヤ天災ぢやない先妻だ」

童話劇 星姫と王子

浪華少女歌劇團

幕があくと、しばらくの間どこからともなく美しい音楽がきこえるやがて上手天から蜘蛛の精が降りて来て岩の上に半身をあらはして四方を見廻し、そのほとりに人の姿の見えるに安心した思ひ入れで、高きはるか

のほとりを仰ぎ見る、星姫たちがあらはれる。
第二場 息長の宮居
前場より七年の後、日没より夜に移りゆく窓邊に近く大人びた碧姫、物うれはしげに幼児を膝においたまゝ、暮れ行く空を見つめて居る、笹舟のメロデーが遠くから流れて来る強弓を弄んで居た息長の若君七歳が遊びつかれたといふ風情で母君のそばに座る(これだけを記憶して放逐をおき、下さい)
テキスト二〇ページ
グレンドチキン
朝倉長吉發表

▽材料及び分量 ヒナ鳥一羽、二百五六十粒位、サラダオイル又はバター二勺、セリ酒又は味淋二勺、鹽胡椒各少量
▽調理法 ヒナ鳥を背割致しまして小骨を取り去り鹽胡椒を少々ふり掛けて置きます、フライ鍋にバター又はサラダ油を人れトロ火にかけ鳥の皮の方から焼き約十五分位狐色になる迄両面共焼きます、焼け上りましてセリ酒又は味淋二勺を注ぎ蓋をし中火にて蒸して置きます、充分火が通りましたら粗にのせ四ツ割にして皿に盛り焼汁をかけ野菜を附合せて供します

全速服 喫茶部 森本盛一

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 腸胃病 胃性病 腸性病 性病 院醫科 村松

優美鮮明 敏速叮嚀 活版印刷の御用命を請願致します 所刷印日每警常 五三町橋長町平 (番〇三六話電)

眼鏡 音器 トキハヤ 平町一丁目

寶鐸院新盆に付ては時節柄提灯其他供物 御遠慮申上候
平田町 森本盛一

謹啓照清院新盆に相當り候へ共故人の遺志に依り提灯供物等一切乍失禮御辭退申上候 敬具
昭和五年舊七月 松本 龜 吉

天瑞院新盆に相當仕候へ共時節柄提灯其他の供物一切御遠慮申上度く何卒惡からず御承知願上候
平町田町 松月堂 金子重次

亡父塚本喜八儀 新盆に相當り候處故人の遺志により提灯其他供物等一切御辭退申上度乍失禮以紙上謹告仕り候也
平町新田町 塚本 保

亡父重雄儀新盆に相當り候へ共緊縮の折柄供養提灯並に供養料其他一切の御贈與を甚だ勝手釜敷候へ共絶對御辭退申上候間不惡御承知被下度願上候
平町鍛冶町 酒井 一 郎 後見者 酒井 秀 治 郎

